

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

総合計画体系	事務事業名	職員研修事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市長公室	担当者名	岩田 建一
	基本事業	81	職員の人材育成			所属班	秘書人事班	(内線)	1214
					法令根拠		地方公務員法第39条		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1
	1	2	1	1	10937			コスト削減優先度評価結果	12

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
①外部研修機関で実施される各種研修への参加
②県研修協議会等が主催する研修会への参加
③市独自で行う研修会への参加
【業務の流れ】
①市町村アカデミー、国際文化研修所、NOMA行政講座
地方自治経営学会研修、その他(実務セミナー等)
②県研修協議会研修
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	・自治大学校1人、研修生成果報告会51人 ・市町村アカデミー 4人、国際文化研修所 3人、NOMA行政講座 10人 計 17人 ・県研修協議会研修 42人、その他実務研修 18人 ・人権教育職員研修2回・124人、男女共同参画まちづくり講座1回・47人、管内行政職員人権・同和教育研修会1回・50人、菊池ブロック男女共同参画推進研修会1回・25人	①自治大学校、市町村アカデミー、国際文化研修所、NOMA行政講座、地方自治経営学会研修、その他(実務セミナー等)②市町村研修協議会主催(新規採用、1部、2部、部門別他)③管理監督者意識改革研修、人事評価研修、人権・同和教育研修他
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 人 ア 研修参加人数 イ 研修回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等職員		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 ア 職員数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 各種研修会へ参加することにより、職員の資質及び能力の向上を図る。		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % ア 参加した職員のうち資質及び能力が向上したと考える職員数の割合 % イ 業務知識の向上と円滑な組織運営が行われていると考える職員数の割合 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 資質が向上している。		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % ア 職階に合った能力を身につけ積極的に取り組んでいる職員の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	560	370	400	420			
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,510	1,167	2,381	1,811	2,975	4,175	4,200	
	(A) 事業費計	千円	2,070	1,537	2,781	2,231	2,975	4,175	4,200	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	79	50	50	61	85	85	85	
	人件費	正規職員従事人数	人	341	336	330	247	324	324	
	延べ業務時間	時間	2,976	5,790	5,800	4,377	4,400	4,800	4,900	
	(B)人件費計	千円	11,815	23,044	23,084	17,420	17,512	19,104	19,502	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,885	24,581	25,865	19,651	20,487	23,279	23,702	
	活動指標	人 回	736 36	1449 64	1500 70	695 72	700 75	850 80	900 82	目 標 合 計 数 計 値 画 22 年 度
	対象指標	人	341	336	330	330	324	324	324	
	成果指標	% %		65.6 42.8	68 50	70.1 51	72 53	75 55	80 60	
	上位成果指標	%								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
職員の資質及び能力の向上を図るために実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
従来の業務に関連する知識習得のための研修に加え、近年では自己啓発研修、政策形成能力研修などが行われている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
職員の資質向上は常に求められている。

事務事業名	職員研修事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	--------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)